

予算特別委員会報告

付託議案の審査は、3月8・11・12日の3日間、委員会を開会し、市長を初め関係理事者の出席を求めて、「議第1号 平成25年度一般会計予算」など、23会計予算及び関連議案4件について慎重な審査を行いました。

平成25年度予算は、景気後退による影響を受け、厳しい財政運営を迫られる中、一部に25年度予算を前倒しした24年度補正予算により、国・県の施策と連動し、経済対策に向けた事業の推進を図るとともに、長期総合計画・後期基本計画の最終年度となる26年度の本市のあるべき姿を見据え、地域経済・雇用対策による地域の活性化、教育や生活の安心・安全対策、高齢者・障害者・子育て支援等の保健・福祉施策の推進など、市民生活の向上に配慮した提案がされました。

また、年度当初に行われる市長選挙に配慮して、義務的経費や継続的経費を中心とした骨格予算となっており、政策的予算、いわゆる肉付け予算は補正予算として提案される予定です。

このような方針のもとに編成をされた25年度の一般会計予算額は、425億9,200万円で、前年度と比較して5.1%の減となっており、特別会計は21会計で、272億338万円、企業会計は水道事業1会計で、45億6,565万1千円となっております。

以下、本委員会において出された質疑の内容を要約して報告します。



平成25年度 予算編成状況総括表

会 計 名		予 算 額 (千円)
一 般 会 計		42,592,000
特 別 会 計	ケーブルネットワーク事業特別会計	40,930
	公共用地先行取得事業特別会計	395,350
	簡易水道事業特別会計	816,140
	港湾事業特別会計	116,840
	駐車場事業特別会計	54,790
	土地区画整理事業特別会計	322,000
	公共下水道事業特別会計	3,099,530
	漁業集落排水事業特別会計	107,490
	農業集落排水事業特別会計	92,540
	小型浄化槽事業特別会計	165,650
	国民健康保険(事業勘定)特別会計	11,222,270
	国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計	92,270
	後期高齢者医療特別会計	1,358,410
	介護保険特別会計	9,251,540
財産区特別会計(7)	67,630	
特別会計合計	27,203,380	
企業会計	水道事業会計	4,565,651
合 計		74,361,031

《歳出》

▼総務費

問 あやめヶ丘の販売実績が低調であるが、販売推進を図るための今後の方針は。

答 これまで、大規模なイベントを行うなどして、販売の推進に努めて

きたが、必ずしも販売実績に繋がっていない現状がある。

25年度には、新たにハウスメーカーと連携し、モデルハウスを設置し、現地への集客を図るとともに、モデルハウスを見学してもらうことで、来訪者の購入意欲をかき立てるような取り組みを行い、販売実績の向上を図る。



あやめヶ丘

▼民生費

問 全国的に高齢化率の問題が取りあげられているが、本市の高齢化も深刻である。孤独死の防止のために、高齢者の実態が把握できるシステムの構築が必要ではないか。

答 市内5箇所の地域包括支援センターや日頃から地域の実情把握に努めている三原市民生委員児童委員連合協議会と情報を共有しながら、実態の把握に努めたい。



▼衛生費

問 社会問題となつてくるPM2.5の、本市における測定状況と市民への情報提供の方法は。

答 測定は、宮沖測定局を含む県内10箇所の測定局で行っており、そのデータは広島県が管理している。

早朝3時間の平均値が1立方メートル当たり85マイクログラムを超えた場合には、市民に対して、注意喚起を行うという県の方針が示されているが、現在まで宮沖測定局の測定数値が注意喚起基準を超えた実績はない。基準を超えた際には、メール配信システムや音声告知放送などを活用して周知徹底を図りたいと考えている。



宮沖測定局

▼農林水産業費

問 イノシシの捕獲に、成果があがっている「くくりわな」の普及・促進の観点から、わなの設置者に対する直接補助について、検討されたい。

答 イノシシの駆除に関しては、「箱わな」の設置補助のほか、新規の狩



箱わな

猟免許取得者に対して、経費の一部を補助する事業や、猟友会の駆除班に、捕獲に対する報奨金を出すなどの事業により、一定の成果があるものと考えている。

▼土木費

問 南海トラフ地震が想定される中で、市内の橋梁には、十分な落下防止策は講じられているのか。

答 7年の阪神淡路大震災以降、建設された橋梁は、新基準により建設されているため、一定の耐震性は保たれているが、それ以前のものについては、対策の検討が必要な橋梁が多くある。

早期に、すべての橋梁に耐震補強を行うことは困難であるが「橋梁長寿命化修繕計画」のもと、適宜、点検・修繕を行う。特に街路・国道へアクセスする市道上の橋梁や長大橋については、重要性の高いところから優先的に耐震補強を検討する。

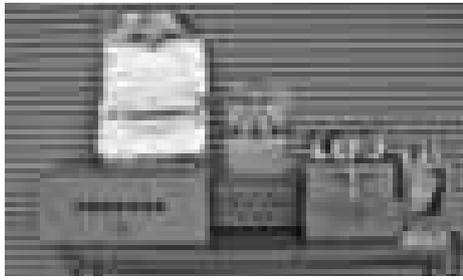


橋梁長寿命化修繕計画により修繕された橋

▼消防費

問 中学校10箇所を設置する防災倉庫について、各中学校との連携や地域住民への周知をどのように考えているのか。

答 今後、設置箇所等について、中学校との協議を進めるとともに、防災倉庫に食料や毛布など災害時の支援物資を備蓄することから、日頃の在庫管理には十分配慮するとともに、事前に備蓄品の内容を地域住民に周知するなどして災害時の適切な対応に努める。



防災倉庫に備蓄予定の資材

▼教育費

問 29年度に予定されている三原城築城450年祭に向けて、天守台にあったとされる「やぐら」の再建はできないか。

答 再建には、文化庁の許可を得るために、詳細な図面が必要であることから、現存する図面を入手すべく、広報みはらに募集記事を載せるなど情



三原城天守台

報の収集に努めているが、現在のところ有力な情報は得られていない。

今後、450年祭に向けて、歴史的な雰囲気や城下町の名残を感じさせることができるような公園の整備に努めるとともに、「やぐら」の再建についても、実現に向けて引き続き努力する。

審査結果

質疑の後、委員から、

納税者の税負担を軽減するために、「議第12号 平成25年度三原市国民健康保険（事業勘定）特別会計予算」において、歳入の国民健康保険税を減額し、歳出の予備費の一部を減額して、なおも不足する財源を、「議第1号 平成25年度三原市一般会計予算」からの他会計繰入金、いわゆる一般会計からの法定外繰り入れで賄うという内容で、「議第1号」及び「議第12号」に対する修正案が提出されました。

修正案に対する討論では、反対の立場から、歳入における国民健康保険税の減額と連動して減額されるべき歳出の額など、修正案に示された予算額には、信頼性に欠ける部分があるため、賛成できない

との意思表示がありました。

続く原案に対する討論では、「議第1号 平成25年度三原市一般会計予算」「議第12号 平成25年度三原市国民健康保険（事業勘定）特別会計予算」「議第14号 平成25年度三原市後期高齢者医療特別会計予算」「議第15号 平成25年度三原市介護保険特別会計予算」

に反対の立場から、ごみ袋の有料化にともない可燃ごみ処理手数料が課せられるなど、市民への新たな負担増となり、根本的なごみの減量化には繋がらない新年度からの「もやすごみ指定袋制度」には賛成できないとの意思表示がありました。これに対して、可燃ごみの抑制という問題は、本市が持っている炉の能力に緊密に関係しており、単に他都市の状況と比較できるもので

はなく、今回の有料化も、やむを得ないと考えるなどの理由から全議案に賛成するとの意思表示がありました。

各議案の採決においては、起立採決の結果、議第1号及び議第12号の修正案が、賛成少数により否決に、議第1号及び議第12号の原案は、賛成多数により可決すべきものと決しました。

次に、議第14号、議第15号については、起立採決の結果、賛成多数により、残余の23件については全員一致により、原案どおり可決すべきものと決しました。

以上、付託議案すべてを原案どおり可決すべきものと決するとともに、審査の過程における指摘については真摯に受け止め、予算執行に当たられるよう要望しました。